

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	7 月	25 日	記入者	関美耶子
調査者名	亀田	鈴木	久門	橋詰	関

調査対象先	五劫院 (華厳宗)						
所在地	奈良市北御門町17			電話番号	0742-22-7694		
代表者 調査対応者	渡邊良憲 住職						
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件	重文:	1 件
	建造物	県指定:	1 件 2 棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂と山門が県指定建造物。昭和53年(1978)に本堂屋根を修理、平成19年(2007)ごろ山門の屋根瓦を耐震補強修理した。
	今後の予定	耐震補強の必要性は感じているが、資金面が十分でない。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂は空気が熱感知システムを設置、火災報知機、消火器は玄関に設け、万が一の際いち早くの対応できるよう配慮されている。火災保険加入、行政から支給を受け年2回の報知機点検も実施。
	今後の予定	冬季のストーブ等危険を感じているので、今後エアコン設置も考えている。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

五劫院 (華嚴宗)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害

A: 経験あり

B: 経験なし

② ①の回答が
Aの場合

どのような
被害か

以前コウモリの糞害もあったが、現在は無い。シロアリ駆除も業者により実施済み。

③ 今後

今後の予定、
要望

特にない。

県指定の本堂は元和10年(1624)再建

昭和53年に本堂屋根修理。瓦の色の違いが分かる



山門は正保2年(1645)建立。平成19年ごろ瓦補強

山門の軒下



火災報知設備

【調査票記入者(関美耶子)の感想】



災害対策に関して知らなかったことをいろいろ教えていただいた。部外者では分からないご苦労も知ることができた。地震対策、防火対策に一層取り組んでいたが、貴重な文化財を後世に伝えてほしい。